AAS（アソシエ・アドバンス・スクール）は、中小企業診断士2次試験に特化した受験機関です。過去問を基軸に置いた学習で、スーパーフレームワークや設問分解練習法など独自の2次試験攻略法を開発してきました。AASでは「表現力×構成力×与件活用力」で答案を作成しています。

【令和3年度・第2次筆記試験】 事例Ⅳ（財務・会計戦略）

この模範解答例は
AAS名古屋が作成しました。

第1問（配点25点）

（設問1）

	(a)	(b)
①	売上高総利益率	27.78 (%)
②	棚卸資産回転率	25.79 (回)
③	売上高対販売費及び一般管理費率	27.46 (%)
④	自己資本比率	19.85 (%)

（設問2）（80字）

地元密着の経営スタイルにより粗利率に優れ商品在庫が適正で効率性が高い。人件費削減及び新規事業による利益改善で収益性を向上させ、内部留保を高めることが課題である。

（80文字）

第2問（配点25点）

（設問1）

(a)	25,600,000円
(b)	人件費削減の税引後CF： $25,000,000 \times (1 - 30\%) = 17,500,000$ 単位：円 減価償却費差額の税引後CF： $(210,000,000 \div 6年 - 100,000,000 \div 5年) \times 30\% = 4,500,000$ 特別損失の節税効果の税引後CF： $(20,000,000 - 8,000,000) \times 30\% = 3,600,000$ 初期投資額を除いた2022年度中のキャッシュ・フロー： $17,500,000 + 4,500,000 + 3,600,000 = 25,600,000$

（設問2）

2022年期首のCF： $\Delta 210,000,000 + 8,000,000 = \Delta 202,000,000$ 単位：円
 2022年期末のCF： $25,600,000 - (\Delta 100,000,000) = 125,600,000$
 2023年から2027年期末のCF： $17,500,000 + 4,500,000 = 22,000,000$
 取替投資案の現在価値： $\Delta 202,000,000 + 125,600,000 \times 0.943 + 22,000,000 \times (0.890 + 0.840 + 0.792 + 0.747 + 0.705) = 3,868,800$
 正味現在価値が正であるため、当該取替投資案を採用する。

AASは『正しい答えではなく、論理の妥当性で勝負する』スタイルの診断士受験専門機関です。

(設問3)

(a)	1,932,159円
(b)	フルセルフレジの価格を x 円/台とする。 ・初期投資額の差額: $\Delta 100x + 100,000,000$ ・減価償却費の差額: $(100x \div 5 - 20,000,000) \times 30\% = 6x - 6,000,000$ ・人件費の節約額: $25,000,000 \times 70\% = 17,500,000$ これらを方程式にすると $(\Delta 100x + 100,000,000) \times 0.943 + (6x - 6,000,000 + 17,500,000) \times (0.890 + 0.840 + 0.792 + 0.747 + 0.705) > 3,868,800$ これを満たす $x < 1,932,159.078 \Rightarrow 1,932,159$ 円

第3問 (配点 30点)

(設問1)

32,143 kg

(設問2)

(a)	38,572kg
(b)	単位当たりの変動費: $30,000,000 \times 60\% \div 50,000 \text{ kg} = @360$ 各目標販売数量における利益を求める。 20,000kg 以下 ($@1,400 - @360$) $\times 20,000 - 12,000,000 = 8,800,000 < 15,000,000$ となり不可 30,000kg 以下 ($@1,240 - @360$) $\times 30,000 - 12,000,000 = 14,400,000 < 15,000,000$ となり不可 40,000kg 以下 ($@1,060 - @360$) $\times 40,000 - 12,000,000 = 16,000,000 > 15,000,000$ となり可 年間販売数量を x とすると ($@1,060 - @360$) $x - 12,000,000 = 15,000,000$ $X = 38,571.42 \dots$ 年間販売数量は、38,572 kg である。

第4問 (配点 15点)

(設問1) (40字以内)

自社所有の販売用のトラックを売却でき、有形固定資産回転率が高まり効率性が改善する。
(40字)

(設問2) (40字以内)

移動手段を持たない買い手弱者等への販売が地域課題解決に繋がり社会価値が高まるため。
(40字)

文責: AAS名古屋 鷲山はるこ